

令和6年9月17日

令和5年度 津山圏域消防組合地球温暖化対策実行計画の点検・評価

津山圏域消防組合は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、令和元年11月に策定した「津山圏域消防組合地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでまいりました。

上記計画の計画期間を第5章3に基づき、点検・評価を実施いたしましたので公表します。

1 津山圏域消防組合地球温暖化対策実行計画の概要

本実行計画は、令和6年4月に改訂を行い、計画期間を令和6年度から令和10年度の5年間として、削減目標を基準年度(令和4年度)比で3%(19,263KgCO₂相当)以上削減することを目標としています。

対象	削減目標	目標年度排出量 (R10年度)
温室効果ガス総排出量 基準年度：R4年度	-3%以上削減 (-19,263 KgCO ₂)	622,822 KgCO ₂

2 点検・評価

【本計画削減目標の達成状況】

温室効果ガス 総排出量(KgCO ₂)	R4年度 (基準年度)	R5年度実績	増減量	増減率
	642,085 KgCO ₂	632,319 KgCO ₂	-9,766 KgCO ₂	-1.52%

温室効果ガス総排出量は基準年度と比較し1.52%の削減となり、計画期限の令和10年度目標3%以上の削減に向け事務事業を一步進めることができたと評価しています。

【燃料別温室効果ガス排出量表】※端数処理のため、合計と一致しない場合があります。

項目	温室効果ガス排出量(KgCO2)			増減率
	R4年度	R5年度	増減量	
電気使用量	393,642	388,863	-4,779	-1.21%
ガソリン	143,529	147,700	4,1771	2.91%
軽油	44,081	43,367	-714	-1.62%
灯油	21,620	21,057	-563	-2.60%
都市ガス	27,980	22,875	-5,105	-18.25%
LPG	11,233	8,457	-2,776	-24.71%
合計	642,085	632,319	-9,766	-1.52%

燃料別の温室効果ガス排出量については、ガソリンを除いた項目で基準年度を下回っています。主な要因として、奥津出張所のエアコンをLPG仕様から電気仕様へ交換したこと、そして全般的な節電や灯油仕様の暖房機器の温度設定について本実行計画に対する職員の取り組みによる成果が挙げられます。

ガソリンについては、コロナ禍以降いったん減少していた救急出場件数が増加しており燃料としての使用量が増加したものと評価しています。温室効果ガス排出量の削減はもちろんですが、救急車が必要な事例にできるだけ早く対処するため救急車の適正利用をさらに周知していく必要があると考えています。

3 今後の取組について

本実行計画は、Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）の4段階を繰り返すことによって点検・評価・見直しを行います。毎年の取組みに対するPDCAを繰り返すとともに、本実行計画の見直しに向けたPDCAを推進します。